

アシタカジャコウソウ *Chelonopsis yagiharana* Hisauti et Matsuno

【選定理由】

個体数階級 3、集団数階級 4、生育環境階級 2、人為圧階級 2、固有度階級 3。分布域の限られた希少な植物で、愛知県でも生育地、個体数ともに極めて少ない。

【形態】

多年生草本。地下茎は匍匐する。地上茎は高さ 30～50cm になる。葉は 5～7 対が対生し、長さ 5～15mm の柄があり、葉身は長楕円形、長さ 5～10cm、幅 1.5～4cm、先端は鋭尖頭、基部は次第に細まってくさび形～円形となり、質はやや薄く、両面の脈上に毛がある。花期は 8～9 月、花は上部の葉腋から出る長さ 4～10mm の柄の先に 1～2 個つき、がくは花時で長さ 6～8mm、花冠はやや薄い紅紫色で、長さ 3～4cm である。

【分布の概要】

【県内の分布】

東栄(小林 34284) 鳳来南部(小林 65183)

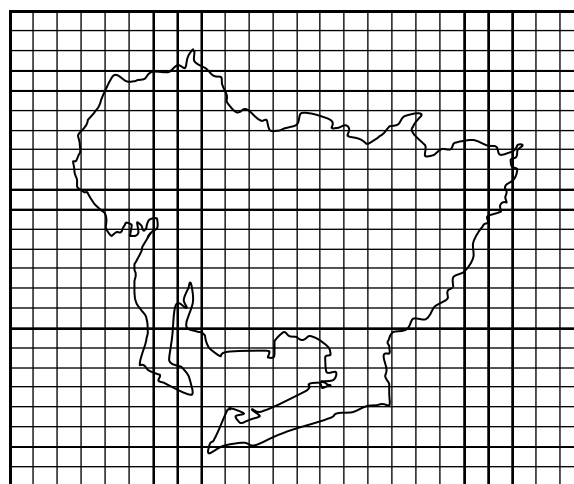
【国内の分布】

本州(中部地方)および四国(愛媛県)。

【世界の分布】

日本固有種。

要配慮地区図



【生育地の環境 / 生態的特性】

山地の林内や林縁に生育する。愛知県の生育地はスギの造林地である。

	山地	丘陵	平野	海浜
森林				
草・岩				
湿地				
水域				

【現在の生育状況 / 減少の要因】

2 区画の各 1 カ所に小群落がある。造林地の手入れ不足により林床の光条件が悪化し、花のつく株は少なく、衰退傾向にあるという。

【保全上の留意点】

間伐など、造林地の適切な手入れが必要である。

【特記事項】

ジャコウソウ *C. moschaeta* Miq. に似ているが、全体に小型で、茎が丸く、葉の基部は心形にならない。しかし、どちらともつかないようなものもある。一般の図鑑等では、あまり取り上げられていない植物である。

【関連文献】

保草本 p.178、SOS 新版 p.30,32。